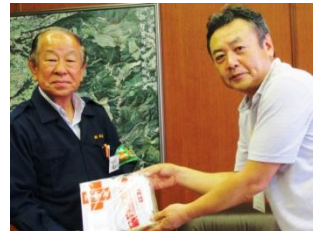


あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！



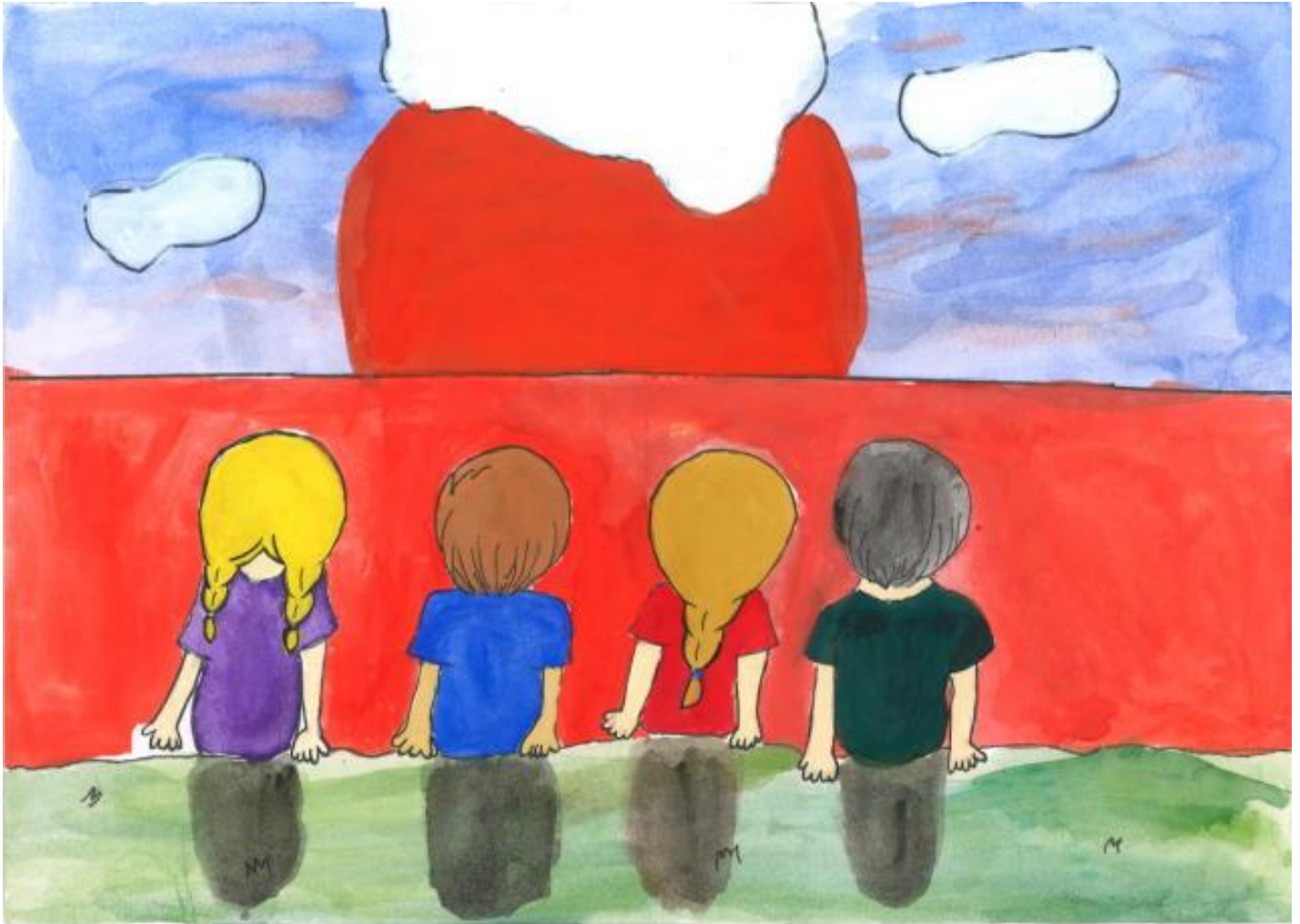
2017年
10月号



【市民活動にこの人あり】第19回
今年5月熊本県西原村村長に救急箱を手渡す市原信行さん(右)。

あの手この手のマークの間のSは、solution(解決)のSです。

第123号 2017年10月10日 大和市民活動センター 拠点やまと 発行



2017年度の表紙は、やまと国際フレンドクラブ主催のやまと国際アートフェスタ入賞作品を掲載しています。第9回(2016年)のテーマは「世界の子どもたちへ」です。

ふれあい窯陶芸クラブ賞 『平和』

ドグエン ミー キム(ベトナム)/渋谷小6年 ※学校・学年は受賞時
「世界のみみなで、一緒に夕日を見ていると、青春だな、と思います。」

第77回共育セミナー／大和市居場所見学ツアー第2弾 「あかり食堂」見学 10/28(土)開催

6月1日に新たに南林間にオープンした「マチツナガル あかり食堂」を訪問します。「ゆらり大和」の野間康彰さんの呼びかけで、1年前に「大和にコミュニティカフェを作る会」を結成。その後準備を進め完成したみんなの居場所です。同じ建物に訪問看護・介護ステーションも併設されているユニークな施設です。

日時：10月28日(土) 14:00～16:00
集合：小田急江ノ島線 南林間駅西口改札に13:50
会費：500円(ワンドリンク付) ※貸切で実施
申込：当センターまで(☎260-2586)
備考：当日は17:00からJAZZ食堂開催(別途申込み)

市民交流センター(仮称)に設置される市民活動ブース 「部室」の申込締切は11/15(水)

来年4月に開設される市民交流センター(仮称)に設置される市民活動ブース「部室」の利用申し込みを受け付けています。7.6～17.4㎡の計44室の部室が、月額2800～6200円(3カ月分前納)で利用できます。

利用期間は原則として2年間。10人以上の団体であることなど利用条件がありますので、募集要領を入手しよくお読みいただき、11月15日(水)までに当センターあてにお申し込みください(☎260-2586)。

募集要領・申込書は当センターほかで配布しており、大和市ホームページからもダウンロードできます。

11月5日(日)開催 市民活動団体交流まつり 現在地では最後の カッコーフェスタ'17



11月5日(日)に、12回目となる市民活動団体交流まつり「カッコーフェスタ'17」を開催します。開催時間は、**10:00~15:00**。来年4月に当センターが旧図書館に移転するため、現在地での開催は今回が最後となります。

思い出が一杯詰まったこのセンターに、みんな一同に会し、大きく盛り上げていきましょう！出展申し込みの締切日は過ぎましたが、まだ若干余裕がありますので、出展希望の方は、至急お知らせください。

●カッコーフェスタ'17 交流会のお知らせ

カッコーフェスタ終了後、**15:30から17:30まで**当センターで交流会を開催します。コーヒーやお菓子を用意しますので、奮ってご参加ください。会費無料・予約不要。出展者以外の方も大歓迎です。



2015年開催時の様子

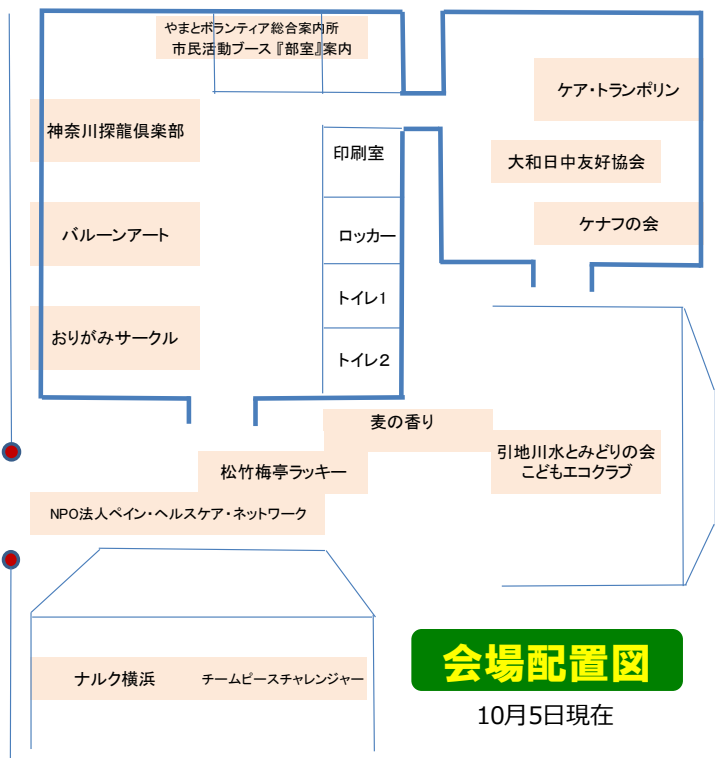
◆松竹梅亭ラッキー
大道芸が見られるだけでなく体験もできます。

◆日本ケアトランポリン普及協会 高齢者向きトランポリンの体験ができます。



◆神奈川探龍倶楽部 御朱印帳の手づくり教室を開きます。

◆おりがみサークル 作品の展示と折り紙の講習をします。



◆バルーンアート/箕輪久美子さん

バルーンアートを作って差し上げます。

◆引地川水とみどりの会こどもエコクラブ

釣りゲームやミニフリマやります。

◆やまとケナフの会

ケナフの紙漉き体験ができます。

◆大和地区日中友好協会

「おもしろ！中国語」と題してお話します。

◆チームピースチャレンジャー

インドの村で制作した製品の即売をします。

◆NPO法人ペイン・ヘルスケア・ネットワーク

慢性の痛み対策冊子を無料配付します。

◆NPO法人ナルク横浜

会のPRと手作り品の販売をします。

◆ボランティア総合案内所

市民活動やボランティア、そして「部室」のことご相談ください。

●カッコーフェスタ'17 企画打ち合わせ会

なるべく多くのおみなさんの意見を反映しますので、参加団体の方は、下記のうち1回にご参加ください。

10月16日(月)・24日(火)ともに14:00~16:00

※いずれも、当センターフリースペースにて。

※参加団体には、終了後議事録をメールします。

お気軽に！ 定例相談日

- ◆市民活動相談=10月9・23日(月)・11月13日(月) ※毎月第2・4月曜の10~17時
 - ◆ボランティア相談=10月14・28日(土)・11月11日(土) ※毎月第2・4土曜の10~17時
 - ◆パソコン相談=10月10・24日(火)・11月14日(火) ※毎月第2・4火曜の14~17時
- ※予約不要ですが、事前に電話予約していただいた方が、お待たせすることもなく確実です。

人生を変えた“3・11”

【市民活動にこの人あり】第19回

一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク 代表理事 市原信行さん

昨年の熊本地震、今年の福岡豪雨。大災害が発生するといち早く現地に駆けつける市原さん。プロの災害ボランティアコーディネーターとして、現地の実情やニーズを正確に把握し受け入れ体制をつくるためだ。市原さんは1960年東京は大田区羽田の生まれ。小学時代から野球少年で、川崎球場には自転車よく通った。大学以外はずっと大田区で就職も地元の整備会社に。その後、川崎の建物管理会社に転職したが、当時景気がよく同様な事業でほどなく独立。いま正社員5人の会社だが健在だ。

仕事柄、各種施工管理技師の資格を取得。建設系重機車両は免許に加え講師の資格も持ち、いまも月に1週間は教えている。近年、重機ボランティアも認められ被災地で運転することも。また、大学時代から地元消防団にも参加し、川崎に移ってからも続けた。こう聞くと現場肌の人間に思えるが、本人曰くむしろ営業・調整型だとか。大和に来たのは2002年。すでに1998年にやまと災害ボランティアネットワーク(災ボラ)は設立され、毎年学校体育館で宿泊体験など実施していた。市原さんも加わったが、都合が合うときに手伝う程度。市原さんの人生を変えたのは、他ならぬ“3・11”だった。

3月15日に釣りやスキーの趣味仲間50人と横浜でバーベキュー大会を予定していたが大震災が発生。可能な人だけでもと集まったのは30人。自ずと震災の話題が中心となり、できることをやろうと支援物資を集めることになった。3日で何トンも集まり、友人からマイクロバスの提供も受けた。都合がつく5人で消息不明の大船渡に住む仲間の友人宅を目指したが、途中で物資を必要とする人が多く、着く前になくなった。被災地のあまりの悲惨さを目の当たりにし、「この現実を誰かが伝えなければ。それには自分が続けるしかない」と痛感。こうして市原さ

んの被災地との往復が始まった。被災地入り許可のために、震災支援の会(のちにサポートチームG)として団体を設立し登録。3月に3回、4月だけで10回近くは通った。そして迎えた5月のゴールデンウィーク。支援を続けるため、なんと仕事をやめることを決意。家族は「何考えているの!」とあきれかえったが、会社はすでに社員だった息子たち3人に任せた。

熱心に通ううち、現地拠点も確保でき宅配便の荷受けもできるようになった。県下自治体が集めた放置自転車を現地の足用に提供してもらい200台も届けた。結局2011~14年は毎年半年以上は東松島にいた。2013年、災ボラ代表の引退を機にサポートチームGと合併し、市原さんが代表になり一般社団法人として再出発。いまや県下有数の支援団体だ。被災地を支援し、被災者の苦悩を地元へ伝えることで、災害に強い地域を作っていくことが市原さんの願いだ。いま力を入れているのは、地元のために活躍できる若い災害ボランティアコーディネーターを育てること。しかし、自分がこの道のプロにならないと後進は育てられないという。市原さんに「プロフェッショナルとは?」と聞きそびれたが、確たる流儀と覚悟があることを強く感じた。



▲今年7月の福岡豪雨で、現地地区長(右)と(後ろは)区長さん

イベント・募集情報

大人の社会科教室

日本の近現代史を学び直そう

大人として知らなくてはいけない歴史を学び直してみませんか? 日本近現代史を、元中学校社会科の先生に教わります。

日時: 10月18日(水) 第1回/10:00~12:00

会場: 大和市民活動センター 会議室 (大和駅南口から2分)

会費: 1回500円

期間: 月1回で来年7月まで全10回予定/曜日など不定期

主催: 大人の社会科教室 (市民活動センター登録団体)

問合せ: TEL 090-2677-5763 (高橋)

2017「大和映像まつり」

アマチュアビデオ20作品を一挙上映

大和映像サロン会員による映像作品20作品を一挙に上映します。「大草原の国 モンゴル紀行」「里山のアートに誘われて」「熟女4人316歳の旅」「夏越しの大祓」「下を向いて歩こう」など、興味深いタイトルの作品多数。

日時: 10月25日(水) 13:00~16:30 (12:30開場)

会場: 保健福祉センター ホール (鶴間駅から東へ徒歩5分)

会費: 無料・予約不要 (直接お越しください)

主催: 大和映像サロン TEL 046-263-6623 (土屋)

コラム 市民活動のキーワード⑤ 一般社団法人

公益法人制度改革により2008年に一般社団法人・一般財団法人・公益社団法人・公益財団法人が生まれました。後二者は厳しい公益認定が必要ですが前二者は認定や許可は不要で、一定の手続きと登記により誰でも法人格が取得できます(従来の社団法人は設立許可が必要でした)。社員2人以上で設立でき、株式会社と同じく収益事業なども可能ですが剰余金や剰余財産は分配できません。

また、非営利性が徹底された法人(定款に剰余金の分配を行わず解散時の剰余財産を国や公益団体へ寄付・贈与する定めがある、理事は3親等以内の親族が1/3以下など)は非営利型法人といい、非収益事業は非課税です(上記記事の災ボラも非営利型)。この点特定非営利活動法人(NPO法人)も同様ですが、一般社団法人は事業分野に制約はなく、少ない人数で短期間に設立でき、設立時の審査や設立後の監督もありません。ただし設立には定款認証手数料5万円、登録免許税6万円など必要です(NPO法人は無料)。



----- <出演しました!> 録音CDが大和市民活動センターにあります。 -----

第301回◆9月5日放送分 市民活動課・拠点やまと

~市民目線でのアドバイスを心がけています~

大和市民活動センターは、市民活動課と市民活動団体である「拠点やまと」が協働で運営しています。「協働事業や補助金事業などの申請時は、市民目線でのアドバイスを心がけています」と話したのは拠点やまとスタッフの望月さん。「センターに行くとは何かがある、と言った人がいました」と人や活動がつながり広がっている実感を話しました。

今年のカッコウフェスタは今の場所での開催は最後になります。11月5日一日だけですので、多くの団体に参加していただきたいです。来年3月4日には、勤労福祉会館ホールで団体交流会も予定しています。また、センターは来年4月1日から旧図書館へ移転します。「部室のように使える市民活動ブースを設けますので、活動に必要なものを置き、いつでも集える場所として活用してほしいですね。サークルなどの団体が市民活動として開かれていくといいと思っています」と語ったのは市民活動課の金子係長。「部室」の詳しい募集要領は、ただいま配付中です。申込書は、市民活動センターまでお持ちください。

第302回◆9月19日放送分 たんぼぼの会

~母親が心からくつろぎ安心できる場を~

「子育て支援として子ども対象の広場は多くありますが、母親が心からくつろぎ安心できる場がどのくらいあるのだろうかと思ひ、孤立しがちな家庭や母親へのサポートとして、子育てほっとサロン・たんぼぼの開催に至りました。そうきっかけを語ったのは石川さん。静かな語り口の中にも子育てに対しての情熱が伝わってきました。

スタッフは、現職の相談員・保育士・元保育園の園長・介護福祉士・幼児教育経験者など8人。大和教会スミレ幼稚園で、毎月第2・第4木曜日の12時40分から、1回4人のスタッフで運営しています。一日中雪の日でもお子さんを抱っこして来たお母さんがいました。「誰かと話をしたい。自分の気持ちを受け止めてほしい」との思いなのでしょう。どんな天候でもお盆でも開いているので、来て話を聞かせてほしいです。「人見知りをするお子さんがスタッフの顔を覚えてくれ、夢中になって遊んでいる姿に成長を感じ嬉しかった」と話されたのは保育士の資格をもつ鈴木さん。教えることはせず見守り、体験から学ぶ場になっています。

10月の 出演

第303回◆10月3日放送 大和市平和委員会

基地のない大和市とこれからも平和な日本を目指し活動しています。

第304回◆10月17日放送 やまとスポーツマネジメント

地域の新しい価値をスポーツで創造していくことを目指しています。

第305回◆10月31日放送 がくいきの会

南鶴間自治会館でふれあいサロンを開催。歩く健康作りも推進中。

※FMやまとは、ネットにつながったPCなら、世界中どこでも聞けます。→FMやまとホームページの「ネットラジオ」をクリック!

★やまとっこ☆みつた ★やまとっこ☆みつた ★やまとっこ☆みつた ★やまとっこ☆みつた ★やまとっこ☆みつた ★やまとっこ☆みつた ★やまとっこ☆みつた



スタッフのつぶやき



◆センター敷地内の柿。2年前に、幹に洞を見つけ、パッサリ切った。翌年の春には数本の枝が伸び、葉も茂り、今年は実を期待していたのだが、一個も成っていない。みんなで味わう最後の年なのに、、、残念! 石川

◆8、9月には大学生9名がさまざまなボランティア活動に参加してくれました。高校生時代ボランティア体験を通して学んだことが、沢山あり「ボランティアをやるなら、大和で!」と嬉しい来館でした。 櫻井サ

◆空を見上げるといわし雲。でも、いつもよりもこもこしているのを調べてみると、それはひつじ雲と呼ばれているものらしい。他にうろこ雲、さば雲があるという。空を見上げる楽しみがまた増えた。 辺見

◆父が卒寿を迎えた。祝年には両親と旅行をしていたが、それも傘寿までであった。父は母を残しては嫌だといった。白寿までは9年もある。次はオリンピックだね!と短いスパンでの楽しみを実現させてあげたい。 関根

◆10月4日は中秋の名月だった。流れる雲の向こうに月が輝いているのがわかる。雲の切れ間から時折姿をあらわしていた。観月を終え、さて帰ろうと角を曲がると甘い香り。どこかでキンモクセイが咲いている。 中山

◆そろそろ紅葉の季節ですね。普段は自転車で移動することが多いのですが、たまに電車に乗ると窓側で外の景色を楽しんでいます。移りゆく季節をのんびり味わえる心の余裕を持っているものですね。 市民活動課/保田

◆デパート踊り場で赤ちゃんを抱いているお母さん。眠そうな赤ちゃんをあやしてリズムカルに体が揺れます。そこに次々と男性・女の子・女性が並びました。その軽やかな動きがほのぼのとしたリズムで次へ次へ♪ 望月

◆スズメウリ、ナタマメ、アサガオ、ゴーヤ、アサリナ...この夏のグリーンカーテンの材料。特にスズメウリがよく育ったが、遮光効果を発揮する機会がほとんどなかった。残念!実が赤くなるのを楽しむか... 櫻井み

◆フュージョングループT-SQUAREは昔からファンで、先日座間ハーモニーホールにライブに行った。実は今回は見送るつもりがFMやまとでCMを聞き「やっぱり行こう!」と思い直した。広告効果ここにあり! 徳留

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手この手」第123号 発行日: 2017年10月10日

発行: 大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館: 月~土 9:00~18:00>
〒242-0021 大和市中心 1-5-1 (大和駅南口より徒歩2分)
※祝日も9:00~18:00で開館しています。

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
E-MAIL:yamato@ar.wakwak.com
URL:http://www.kyodounokyoten.com/

★やまとっこ☆みつた★やまとっこ☆みつた★やまとっこ☆みつた★やまとっこ☆みつた★やまとっこ☆みつた★やまとっこ☆みつた★やまとっこ☆みつた